

# エクセル関数とは？

# 内容

- エクセル関数の役割
- エクセル関数の種類
- エクセル関数の構造
- エクセル関数の使い方
- 問題演習

# エクセル関数の役割

# エクセル関数の役割

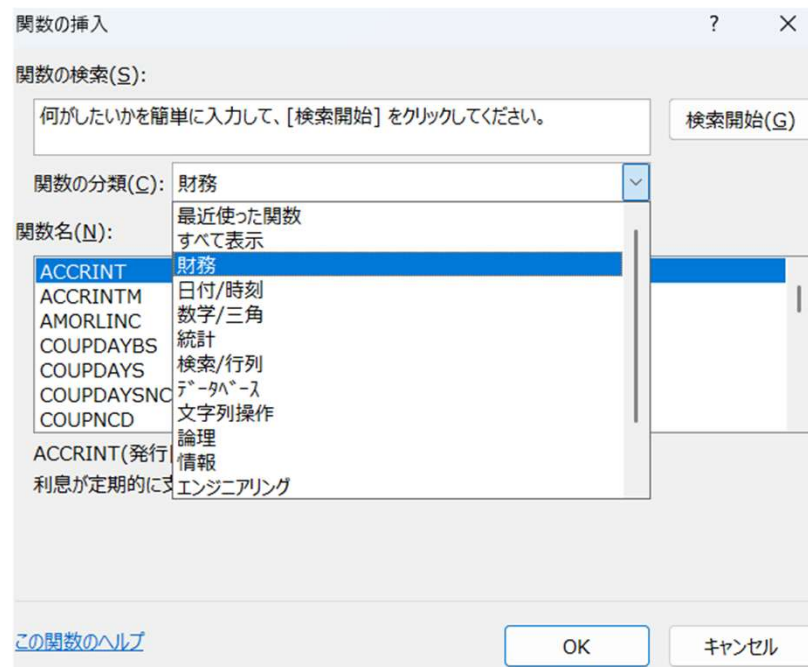
エクセル関数を使うと下記の  
ようなメリットがあります。

- 作業スピードが大幅にあがる
- 計算ミスが減る
- 効率化を思いつくようになる
- エクセルが「できる人」になる

# エクセル関数の種類

# エクセル関数の種類

エクセル関数は**500**種類以上ありますが、実務で使うものは限られています。



# エクセル関数の種類

## 実務で良く使う関数**1**

- **SUM**関数
- **AVERAGE**関数
- **IF**関数
- **VLOOKUP**関数

合計  
平均  
場合分け  
検索

# エクセル関数の種類

## 実務で良く使う関数2

- **COUNTIF**関数
- **SUMIF**関数
- **XLOOKUP**関数
- **TEXT**関数
- **SUBSTITUTE**関数
- **INDEX**関数
- **MATCH**関数

条件×カウント

条件×合計

**VLOOKUP**の進化

表示形式

置き換え



# エクセル関数の構造・使い方

# エクセル関数の構造・使い方

## 関数の基本構造

=関数名 (引数)

引数：ひきすう

→関数に渡してあげる値のこと

# エクセル関数の構造・使い方

関数の基本構造（例）

**=SUM (1,3,5)**

**SUM**関数に**1,3,5**という引数を渡す  
→**1 + 3 + 5**の結果が返ってくる

# エクセル関数の構造・使い方

関数の基本構造（例）

**=SUM (A1:A3)**

**SUM**関数に**A1:A3**という引数を渡す  
→**A1**～**A3**の合計結果が返ってくる

# エクセル関数の構造・使い方

関数によって必要な引数の種類・数は決まっている

**=SUM (A1:A3)**

**=AVERAGE (A1:A3)**

**=IF (A1>=60,"○","×")**

**=VLOOKUP (A1,\$D\$3:\$G\$8,3,FALSE)**

# 問題演習

# エクセル関数の構造・使い方

関数に渡す値を何と行うのでしょうか？

1. 引数 (いんずう)
2. 引数 (ひきすう)
3. 渡数 (わたすう)
4. 閾値 (いきち)

# エクセル関数の構造・使い方

**SUM**関数の使い方として正しいものは？  
※**5+3+1**をしたい場合

1. **SUM=(5,3,1)**
2. **SUM(5,3,1)=**
3. **=SUM(5,3,1)**
4. **5,3,1SUM**